

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 柏田 聰明 先生
2. 演題 接着が変えた補綴修復治
-超高齢になっても咀嚼機能を維持するために-
3. 日時 平成29年4月21日(金)15時00分 ~ 17時00分
4. 場所 歯学部 4階 演習室
5. 要旨 超高齢社会になって高齢者の咬合崩壊を防ぐには、高齢者になる以前に歯牙欠損をつくらないような治療をすべきである。歯はトラブルを経験するたびに喪失へと一步一步近づいていく。修復歯の主なトラブルである二次齲蝕と歯根破折も、原因は細菌と咬合力にある。演者は常に「予防的修復治療」を心がけてきたが、そのターゲットにしてきたのはその細菌と咬合力である。歯質と修復物被着面を接着により緊密に封鎖して辺縁漏洩による細菌の侵入を防ぎ、長期間の咬合力にも耐えるような接着強さと、細菌の侵入があっても脱灰しないような歯質の強化が出来るような接着技法(ADゲル法)の開発となった。この方法によって、従来は抜歯になったようなトラブル歯であっても、細菌と咬合力に抗して長期に保存できるようになり、二次齲蝕は激減し、歯根破折を経験することも減多に無くなった。補綴修復のトラブルの原因として重要な歯周病についても予防的修復治療の観点から述べさせていただく。

連絡先: 新田 浩 (歯科医療行動科学分野 内線 5479)